

Cafe Emartin

第5回コンサート

2009年5月5日（火・祝）

開場 13:30 開演 14:00

サロン・ド・パッサージュ

ピアノ：STEINWAY & SONS

入場無料

ごあいさつ

本日は、Cafe Emartin 第5回コンサートに足をお運びいただき、誠にありがとうございます。本コンサートは、東京農工大学ピアノ部OBを中心とした有志が集まり毎年企画しております。私たちは音楽が大好きで、とりわけピアノが大好きで、この「私たちの大好きなピアノ」を皆様に聴いていただきたく、本コンサートを催しました。

私たちは音楽好きではありますが、その技術はまだ未熟でして、自分ひとりの力では1曲を仕上げるのもままなりません。そこで、このような場を単なる「発表会」にするだけでなく、互いの音楽性を高めていけるきっかけにしたいと考えております。今回のコンサートも何ヶ月も前から準備し、何度も練習会を行いました。この仲間たちとともにコンサートを作り上げ、そのプロセスまで楽しみ成長していければと思います。そんな私たちの演奏をどうかお楽しみください。

出演者一同

本日のプログラム

第一部 (14:00~14:30)

- | | | |
|----------------------------|-----------------------------------|--------------|
| 1. F. Liszt | ハンガリー狂詩曲第 12 番嬰ハ短調 | M. Motoyama |
| 2. 久石 譲 | もののけ姫
となりのトトロ | N. Masujima |
| 3. L. v. Beethoven | ピアノソナタ第 8 番ハ短調 Op.13 「悲愴」より第 2 楽章 | A. Mashiyama |
| 4. R. A. Schumann=F. Liszt | 歌曲集《ミルテの花》Op.25 より第 1 曲「献呈」 | A. Matsui |

第二部 (14:50~15:30)

- | | | |
|----------------------------|---------------------------------------|--------------|
| 5. L. v. Beethoven | ピアノソナタ第 14 番嬰ハ短調 Op.27-2 「月光」 | S. Mukawa |
| 6. C. V. Alkan
H. Kaski | 前奏曲集 Op.31 より第 8 曲「海辺の狂女の唄」
夜の海辺にて | S. Fujioka |
| 7. J. Brahms | 6つの小品 Op.118 より第 2 曲「間奏曲」 | S. Yonemura |
| 8. 尾崎 豊 | I Love You | S. Makishima |

第三部 (15:50~16:40)

- | | | |
|------------------|--|-------------|
| 9. F. F. Chopin | ワルツ第 9 番変イ長調 Op.69-1 | A. Otsuka |
| 10. F. F. Chopin | バラード第 1 番ト短調 Op.23 | M. Motoyama |
| 11. F. F. Chopin | バラード第 4 番ヘ短調 Op.52 | Y. Motoyama |
| 12. F. F. Chopin | エチュード Op.10 より No.1, 2, 3, 4, 5, 8, 12 | K. Tsutsui |

上記プログラム終了後に裏プログラムを用意しております。是非あわせてお楽しみください。

演奏者からのメッセージ

第一部

1. F. Liszt ハンガリー狂詩曲第12番嬰八短調

学生の頃から数々の無茶をして来ました。大学も卒業したことだし、そろそろ難曲探検隊も卒業しようかとも思ったのですが、やはり辞められません。失敗しても良いのです。また弾けば…。

ただ、「ああ、やっぱり無茶だったね」だけで終わらず、そこから何かを学べればと常日頃思っています。社会人1発目の無茶です。どうか我慢してお聴きください。

M. Motoyama

2. 久石 譲 もののけ姫 となりのトトロ

となりのもののけ!!

なーんて

子供じゃなくてもトトロに会えると信じています。

N. Masujima

3. L. v. Beethoven ピアノソナタ第8番八短調 Op.13 「悲愴」より第2楽章

人前でピアノを弾くのは何年かぶりで感覚を忘れていますが、初心に返った気持ちで演奏します。

A. Mashiyama

4. R. A. Schumann=F. Liszt 歌曲集《ミルテの花》Op.25より第1曲「献呈」

私の気持ちが、素直にこの曲で表現できたらと思い、選曲しました。シューマンがクララとの結婚式の前夜に送った曲です。

A. Matsui

第二部

5. L. v. Beethoven ピアノソナタ第 14 番嬰八短調 Op.27-2 「月光」

第 1 楽章は心穏やかに、
第 2 楽章はやさしい気持ちで、
そして、第 3 楽章は爆発します。

S. Mukawa

6. C. V. Alkan 前奏曲集 Op.31 より第 8 曲「海辺の狂女の唄」 H. Kaski 夜の海辺にて

この二曲を選んだ理由は、なんとどちらもモチーフが"海辺"だからです。
しかもどちらも夜っぽいからです。
単純ですいません。
海は世界にひとつ。
けれど世界のどこで見えるかによって、その印象は随分と違ってきます。
カスキとアルカンは、それぞれ違う時代・違う土地に生きた作曲家です。
彼らは"海"、そしておそらく"夜"という共通のモチーフに対して
"動"と"静"という、正反対の表現をしています。
ふたつの"夜の海辺"を楽しんでいただけましたら幸いです。

S. Fujioka

7. J. Brahms 6つの小品 Op.118 より第 2 曲 間奏曲 イ長調

学生時代に部の先輩がよく練習していて、私もいつか弾いてみようと思っていた曲です。でも、その深い世界になかなか入り込めず、いつの間にか、何年も過ぎてしまいました。
ブラームスの後期の作品は巨匠がたどり着いた、孤独で穏やかな世界です。
この曲は、昔を懐かしむものでしょうか？
かなわなかった恋を想うものでしょうか？
でも、そこに悲しみや後悔の念は無く、感情の高まりを感じながらも微笑みかけているイメージです。
この会には昨年から参加させていただいています。仕事に追われる毎日ですが、自分よりだいぶ若い世代（上手いんですよねー！）に刺激を受け、強引に練習時間を作り出す、いいきっかけとなっています。

S. Yonemura

8. 尾崎 豊 I Love You

誰もが知っている名曲で、自分の表現力の限界を試してみたいという観点から、選曲致しました。現在の自分ならではの演奏を、お届けしたいと思います。

S. Makishima

第三部

9. F. F. Chopin ワルツ第9番変イ長調 Op.69-1

初めてのカフェ・エマルティン参加です!!

今回弾く曲は、通称『別れのワルツ』、選曲した段階ではその事は知りませんでした(笑)

私はこの曲を

『優しく儂い記憶』

として表現できればと思っています☆(注:あくまで私の勝手なイメージです(笑))

会社の研修中なため、ピアノをなかなか練習できず不安もありますが…

応援よろしくをお願いします♪

A. Otsuka

10. F. F. Chopin バラード第1番ト短調 Op.23

私のピアノ人生で最も長く弾き続けている曲です。あまりにも好きで、一日何時間もこの曲だけを練習したり、色々な人の演奏を聴いたりしましたが、未だ理想の演奏が見つかりません。何かが見えたと思ったらすぐに見えなくなるので、弾くたびに迷走してきましたが、これからもこの曲を一生弾き続けたいです。

M. Motoyama

11. F. F. Chopin バラード第4番ヘ短調 Op.52

深い曲です。何年も前から何度も人前で弾かせて頂いていますが、弾く度に新しい発見があるのでなかなか止められません。いわゆるバラード第4番中毒、略してバラ中です。皆様もバラ中になりませんか？

Y. Motoyama

12. F. F. Chopin エチュード Op.10 より No.1, 2, 3, 4, 5, 8, 12

農工大ピアノ部に積極的に関わっている人間の最長老となって久しい。ピアノとの関わり方が人それぞれ全く違うのがココの特徴であるが、大学入学当時と驚くほど変わって(変わり果てて?)しまう輩がいるかと思うと、変わらないような気がするが実は本質が変わった(化けの皮がはがれた)輩あり、個性を十分に伸ばした(より个性的になった)輩あり、それはそれは多彩な人生が繰り広げられている。

今回の演奏会、その中でも選りすぐりの(=特別にトンデモナイ)連中の集まりであるが、その中で唯一マトモなのがこのワタクシ。くれぐれも誤解なきようお願いしたい。

K. Tsutsui

